

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	全職員が独自の理念の実践に向けて一丸となれるよう、繰り返し確認し合う機会を設けることが望まれます。	①「ひとに光を！」の理念のもと、ご入居者個別、そしてスタッフ個別の理念の実践、実現に向け繰り返し定期的に方向性の確認を行なう	①毎月1回開催しているカンファレンス、サービス担当者会議にてご入居者個別のケアについてミーティングを継続実施する。 ②1空3か月に一度のOJTスタッフ面談を継続実施し、スタッフ個別の自己課題を明確化し、3.6か月スパンでの課題克服計画を立て、スキルアップを行なう	6ヶ月
2	4	開かれた施設とするため、又外部の専門的な視点をホーム運営に活かすため、是非ともこれらの人の協力を得て3か月に1回以上の開催にこぎつけることが望まれます。	①運営推進会議を定期的・継続的に開催	①年間予定表の作成(1回/3か月 運営推進会議実施) ②あんしんケアセンターへの定期訪問、関係強化や取組説明 ③自治会との連携(地域イベント、介護勉強会等の実施)	6ヶ月
3	5	取り合えずは、地域包括支援センターと緊密な協力関係の構築が望まれます。	①あんしんケアセンター、近隣介護関連施設、居宅介護支援事業所との連携強化	③あんしんケアセンター、近隣介護関連施設、居宅介護支援事業所等との定期的(1回/2か月)なミーティング実施による連帯強化	6ヶ月
4	33	今後家族がホームでの看取りを希望するケースが増えることが予想されるので、ホームで安心して生活を続けられるよう、医師・看護師との連携による看取りの体制を整え、計画的に職員研修を行なっていくことが望まれます。	①看取りに関しては積極的には行わない方針であるが、重度化した際にホームでできる内容、対応に関する研修、指導を実施し、また、提携医療機関、薬局、ご家族との連携を継続して行なう	①急変時対応マニュアルによるスタッフ研修(年2回) ②訪問診療、訪問看護の継続実施 ③ご家族への、毎月の近況報告による正確な情報の伝達及び早期初動実施 ④近隣介護関連施設(特養、老健、有料)との関係強化	6ヶ月
5	35	様々なケースでも臨機応変に全職員が対応出来るよう、皆で対応策について話し合いを繰り返す事が望まれます。また直ちに実現困難としても、近隣の人達との共同訓練の実施が今後の課題です。	①定期避難訓練の実施継続 ②近隣工場、民家との合同避難訓練の実施 ③他 介護関連施設との連携による避難計画作成	①定期(年2回)避難訓練を継続実施 ②定期避難訓練の1回を、近隣工場、民家と合同で実施します。ホーム防災倉庫に備蓄している災害備蓄品やAEDについても報告を行ない、防災体制の強化を図る ③1回/2か月に打合せを開いており、防災に関する連携、協力体制の構築を目指す	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。